

武田薬品工業が新薬候補を40億ドルで取得—格付への影響は限定的

以下は、武田薬品工業株式会社（証券コード：4502）の新薬候補物質の取得に関する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 12月13日、当社は米 Nimbus Therapeutics 社より、新薬候補物質の経口アロステリック TYK2 阻害薬を取得することを公表した。当社は同社に対し一時金で40億ドルを支払い、年間の売上高が一定以上となった場合には追加のマイルストーンを支払う。当社は26/3期から28/3期の間に規制当局へ承認申請する可能性があるとしており、潰瘍性大腸炎治療剤エンティビオの30年以降のの特許クリフに備えた開発パイプライン強化の一環と捉えられる。
- (2) 今回の取得に伴い多額の資金支出が見込まれる。ただ、足元の業績が堅調に推移する中、財務面への影響は大きくないと想定される。財務健全性の確保に関する経営陣の意思にも特段の変化はなく、格付への影響は限定的と JCR は判断した。今回取得する新薬候補物質は乾癬に加え、複数の自己免疫疾患の治療薬となる可能性がある有望な薬剤であり、適応症の広がりを含む開発の進捗に注目していく。

（担当）本西 明久・佐藤 洋介

【参考】

発行体：武田薬品工業株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル